

経 済 統 計 学 会  
第 54 回 (2010 年度)  
全 国 研 究 大 会 プ ロ グ ラ ム

期間 : 2010 年 9 月 16 日 (木) ~ 9 月 17 日 (金)  
会場 : 大分大学経済学部 (旦野原キャンパス)

日程

研究大会	9 月 16 日 (木) 9:30~17:30
	9 月 17 日 (金) 9:00~15:20
会員総会	9 月 16 日 (木) 13:00~14:00
懇 親 会	9 月 16 日 (木) 17:45~19:30

経済統計学会九州支部  
大分大学経済学部内  
〒870-1192 大分市大字旦野原 700  
西村善博研究室  
電話:097-554-7706  
FAX: 097-554-7663(学部総務係)  
email: ynishi@cc.oita-u.ac.jp

**9月16日(木)**

8:25 受付開始

9:25 開会

9:30~11:10 セッションA (労働統計研究部会企画) : 併行セッション

**国内外における就業実態の統計分析**

**会場：経済学部 202 号教室**

コーディネーター：水野谷武志 (北海学園大学)

座長：芳賀寛 (中央大学)

1. 小野寺剛 (立教大学) …………… 現代日本における転職行動  
—就業構造基本調査匿名データによる統計分析—
2. 村上雅俊 (関西大学) …………… ワーキングプアの日加比較
3. 松丸和夫 (中央大学) …………… ドイツの非正規雇用に関する統計  
—マイクロセンサスの活用—

予定討論者：水野谷武志 (北海学園大学)

11:20~12:00 チュートリアル

**チュートリアル**

**会場：経済学部 202 号教室**

コーディネーター：プログラム委員会

匿名データの提供と利用申請について 小林良行 (一橋大学)・森博美 (法政大学)

12:00~13:00 昼休み

13:00~14:00 会員総会 (経済学部 202 号教室)

14:00~17:30 セッションB (プログラム委員会企画) : 共通セッション

**地域・地点情報と統計—課題と展望—**

**会場：経済学部 202 号教室**

コーディネーター：プログラム委員会

座長：岩崎俊夫 (立教大学)・池田伸 (立命館大学)

1. 森博美 (法政大学) …………… ジオコードによる統計の情報価値の拡張可能性について
2. 菊地進 (立教大学) …………… 企業と雇用をめぐる地方統計情報と行政施策
3. 坂田幸繁 (中央大学) …………… 標本調査データからの地域情報の抽出可能性をめぐって
4. 伊藤伸介 (明海大学) …………… 地域分析におけるマイクロデータの可能性について  
—イギリスのセンサスデータを中心に—
5. 小西純 (統計情報研究開発センター) …………… 統計情報に関する諸課題と GIS の利用可能性

予定討論者：山田満 (経済統計学会関東支部)・金子治平 (神戸大学)・佐藤智秋 (愛媛大学)

17:45~19:30 懇親会 (会場：大分大学生協)

9:30~12:00 セッションE(自由論題): 併行セッション

海外のセンサス動向とその周辺

会場: 経済学部 201号教室

座長: 山田茂(国士館大学)・上藤一郎(静岡大学)

1. 坂田大輔(横浜国立大学・院)

……………独立後インドにおける標本調査論争  
—ガドギル=マハラノビス論争を中心に—

2. 岡部純一(横浜国立大学) ……………途上国村落の出生登録データに関するミクロレベルの検証

3. 吉田央(東京農工大学) ……………韓国の統計改革とセンサスの動向

4. 山口秋義(九州国際大学) ……………ロシア統計改革の四半世紀—制度の視点から—

5. ELISEEVA Irina, I. (St.Petersburg State University of Economics and Finances)

……………The Problems of Russian Statistics: Thinking of Scholar

6. 浜砂敬郎(経済統計学会九州支部) ……………ドイツの2011年統計登録型センサスについて

会場案内

(大分大学旦野原キャンパス地図)



\* 詳細は <http://www.oita-u.ac.jp> の「キャンパス案内」参照

大分大学経済学部へのアクセス

- ・JRの利用: 大分駅—JR 豊肥本線(約13分)—大分大学前駅—徒歩(約7分)—経済学部
- ・バスの利用: 大分バス「大分駅前3番か7番のりば」あるいは「トキハデパート前1番のりば」の「大南団地・高江ニュータウン」ないし「大分大学」行き—(約30分)—「大分大学正門」あるいは「大分大学(構内)」降車—徒歩—経済学部

**9月17日(金)**

9:00~11:10 セッションC-1 (マイクロ統計研究部会企画) : 併行セッション

**マイクロ統計の利用をめぐって**

**会場：経済学部 202号教室**

コーディネーター：伊藤伸介（明海大学）

座長：坂田幸繁（中央大学）

1. 江口尚孝（上智大学・院） ……全国消費実態調査による予備的貯蓄の検証  
—疑似パネルデータの作成と家計消費の慎重度の推定—
2. 栗原由紀子（中央大学・院） ……同一行動からみた生活時間のモデル分析  
—家族の相互規定性を考慮して—
3. 出島敬久（上智大学） ……子育て関連支出と母親の就業・非就業の関係
4. 安井浩子（統計情報研究開発センター）・米澤香（統計情報研究開発センター）・  
杉橋やよい（金沢大学）・金子治平（神戸大学）  
……………イギリスにおける社会保障給付の捕捉率推計方法についての検討  
予定討論者：林田実（北九州市立大学）

11:10~12:10 セッションC-2 (マイクロ統計研究部会・プログラム委員会企画) : 共通セッション

**教育用マイクロデータとは**

**会場：経済学部 202号教室**

コーディネーター：坂田幸繁（中央大学）

座長：菊地進（立教大学）

1. 小林良行（一橋大学） ……統計教育のための疑似個別データ作成について
2. [招待報告]  
山口幸三・秋山裕美・後藤武彦（以上、独立行政法人統計センター）・伊藤伸介（明海大学）  
……………教育用マイクロデータ作成の試み  
—政府統計マイクロデータの利用拡大に向けて—

12:10~13:10 昼休み

13:10~15:20 セッションD (ジェンダー統計研究部会企画) : 併行セッション

**日本の統計改革とジェンダー統計の強化**

**会場：経済学部 202号教室**

コーディネーター：杉橋やよい（金沢大学）

座長：鷺谷徹（中央大学）

1. 杉橋やよい（金沢大学） ……ジェンダー統計に関わる政府指針の検討  
—統計基本計画と第3次男女共同参画基本計画(案)を中心に—
2. 福島利夫（専修大学） ……リプロダクティブ・ヘルス/ライツと統計
3. 中野洋恵（国立女性教育会館） ……教育統計の現状と課題—ジェンダー統計の視点から—
4. 伊藤純（昭和女子大学） ……生活の社会化に伴う新家計支出の把握と  
ジェンダー統計整備の課題

予定討論者：伊藤陽一（法政大学日本統計研究所）

15:20 閉会

9:00~11:10 セッションF(自由論題): 併行セッション

所得、利潤、年金、統計品質など

会場: 経済学部 201号教室

座長: 木村和範(北海学園大学)・芳賀寛(中央大学)

1. 畠中亨(中央大学・院) ……………所得代替率と公的年金の同一世代内格差
2. 秋保親成(中央大学) ……………国民経済計算に基づく利潤率の分析  
—現代資本主義の蓄積構造を視野に—
3. 藤井輝明(大阪市立大学) ……………世帯所得と個人所得
4. 水野谷武志(北海学園大学) ……………欧州統計システム(ESS)における統計品質活動の到達点
5. 伊藤陽一(法政大学日本統計研究所) ……………利用者本位の統計活動  
—統計の品質論を材料にして—

13:10~15:20 セッションG(自由論題): 併行セッション

SNAと産業関連の諸問題

会場: 経済学部 201号教室

座長: 松川太一郎(鹿児島大学)

1. 櫻本健(立教大学・院) ……………経済センサス導入を受けた年次供給使用表推計に関する研究
2. 佐藤拓也(中央大学)・東浩一郎(東京立正短期大学)  
……………経済理論における諸指標の計測—公式統計利用上の課題—
3. 橋本貴彦(島根大学) ……………産業関連データを用いた生産性指標に関する比較検討
4. 作間逸雄(専修大学) ……………生産境界再考
5. 泉弘志(大阪経済大学) ……………投下労働量計算と生産物及び労働の境界

経済統計学会  
2010年度全国研究大会  
プログラム委員

- |       |                |
|-------|----------------|
| 北海道支部 | 木村和範(北海学園大学)   |
| 東北支部  | 深川通寛(石巻専修大学)   |
| 関東支部  | 坂田幸繁(中央大学) [長] |
| 関東支部  | 芳賀寛(中央大学)      |
| 関西支部  | 小川雅弘(大阪経済大学)   |
| 九州支部  | 西村善博(大分大学)     |
| 九州支部  | 松川太一郎(鹿児島大学)   |

## お知らせとお願い

1. 研究大会と懇親会の出欠については、同封のはがきで8月16日（月曜）【必着】までにご返事願います。また、理事の方は、理事会への出欠についても同様に、ご返事願います。
2. 研究大会の参加費（報告要旨集代金を含む）は、一般会員3,000円、院生会員1,000円、非会員4,000円です。懇親会費は4,000円（院生会員2,000円）を別途いただきます。
3. 宿泊について、大学の周辺には宿泊施設が殆どありません。遠方の方は、大分駅周辺の宿泊施設をご利用願います。宿泊は、各自で手配してください。
4. 会場へのアクセスには、JR豊肥本線のご利用が便利です。「JR大分駅」から約13分の「大分大学前駅」で降車して下さい。大分大学前駅から会場の経済学部まで徒歩で約7分かかります。また、バスをご利用される場合は、大分バス「大分駅前3番か7番のりば」あるいは「トキハデパート前1番のりば」の「大南団地・高江ニュータウン」ないし「大分大学」行きに乗車され、「大分大学正門」あるいは「大分大学（構内）」で降車して下さい。「大分大学正門」バス停から徒歩で約7分、「大分大学」バス停から徒歩数分で経済学部に着きます。なお、大会期間中の昼食については、大学生協の利用をお願いいたします。
5. 理事会を次の要領で開催いたします。  
と き：9月15日（水）午後3時  
ところ：大分大学経済学部4階第12演習室
6. 報告者の方は、電子メール・郵便による指示に従って、「報告要旨集」原稿の送付・会場配布資料などを御準備ください。なお、会場はPowerPointによるプレゼンテーションが可能です（Windows Vista、PowerPoint 2007 をインストールしたパソコンを用意します。これについてご確認されたい方は、開催校の西村：ynishi@cc.oita-u.ac.jpまでご連絡をお願いいたします）。
7. 報告要旨は、下記の学会ホームページで公開します。  
経済統計学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ses/>
8. 不測の事態により、研究大会が予定通り開催できない場合には、学会ホームページで本会の対応をお知らせしますので、随時ご確認ください。
9. 報告会場では飲食できません。別に用意する控え室（経済学部301号教室）をご利用願います。
10. 各種委員会・研究部会の会合は、15日午後～17日に実施をお願いいたします。開催校の西村：ynishi@cc.oita-u.ac.jpまで事前にご連絡をいただければ、時間・部屋の調整をいたします。
11. 最後に、大会の実施に当たり、開催校の都合により、大分大学経済学部との共催という形をとりましたことをお知らせいたします。